

高速道路ネットワーク進展に関する市長コメント

本日、鳥取西道路の未公表区間の開通時期が示され、平成30年までの全線供用及び平成29年内の一部区間での部分供用、さらに鳥取道で整備中の付加車線の一部(大原～西粟倉)も平成30年度に開通する見通しが正式に示された。

山陰近畿自動車道鳥取～福部間のミッシングリンク(通称南北線)も、現在計画段階評価の手続きが進められており、いよいよ鳥取自動車道、山陰道、山陰近畿自動車道の連携が現実味を帯びてきた。

これは、本市をはじめとする関係自治体や経済団体など多くの関係者の多年にわたる国等への要望の成果であり、圏域の将来展望につながる高速道路ネットワークの進展が加速していることを歓迎したい。

鳥取西道路の具体的な開通時期の明示やミッシングリンク解消の動きは、今後の企業誘致や観光振興に好影響を与え、地域経済の一層の活性化が期待できる。

引き続き、IC周辺の生活道路の安全対策等をはじめとした所要の対応を進めるとともに、高速道路ネットワークの着実な整備推進を国に対し強く要望していく。

平成28年11月9日

鳥取市長 深澤 義彦

平成28年11月9日
(資料提供先)

鳥取県政記者会
鳥取市政記者クラブ

鳥取西道路が『平成30年』迄に全線開通

- 鳥取西道路 はまむらしかのおんせん 浜村鹿野温泉IC(仮称)～あおや 青谷IC 『平成29年』に開通の見通し
- 鳥取西道路 とっとりにし 鳥取西IC～はまむらしかのおんせん 浜村鹿野温泉IC(仮称) 『平成30年』に開通の見通し
- さらに鳥取自動車道 おおほら 大原IC～にしあわくら 西粟倉IC間の付加車線も 『平成30年度』に開通の見通し

1. 鳥取西道路の開通時期について

- ・鳥取西道路(とっとりにし 鳥取西IC～あおや 青谷IC)は、平成30年迄に全線開通となります。
- ・鳥取西道路(Ⅲ期)は、「平成29年度」の開通予定でしたが、工程精査の結果、はまむらしかのおんせん 浜村鹿野温泉IC(仮称)～あおや 青谷IC間について、開通予定を「平成29年」に前倒します。
- ・鳥取西道路(Ⅱ期)は、「平成29年度」の開通予定でしたが、トンネル工事で大量の湧水が発生するなど難航しており、「平成30年」に変更せざるを得ない状況ですが、一日でも早い完成を目指します。
- ・鳥取西道路(Ⅰ期)は、土工工事で法面変状が発生するなど難航していますが、「平成30年」の開通に向け進捗を図って参ります。

2. 鳥取自動車道(おおほら 大原IC～にしあわくら 西粟倉IC間)付加車線について

- ・事業の進捗状況により、「平成30年度」の開通見通しが明らかになりました。

◇一日でも早い開通を目指して事業を実施して参ります。

◇具体的な開通時期につきましては、残る工事の進捗等を見ながら目処が立った段階で改めてご案内します。

※鳥取豊岡宮津自動車道(とっとり 鳥取～ふくべ 福部)については、今後、計画段階評価の手続きを着実に進めてまいります。(平成28年10月21日に中国地方小委員会を開催)

問い合わせ先

■『鳥取西道路』について

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

TEL:0857-22-8435(代表)

HP :<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>

副所長(道路) ひめむら 姫村 幸造
ふじはら 藤原 康史
(発注担当) 工務第二課長 かわい 河井 知久
(広報担当) 計画課長

■『鳥取自動車道(大原IC～西粟倉IC間)』について

国土交通省 中国地方整備局 岡山国道事務所

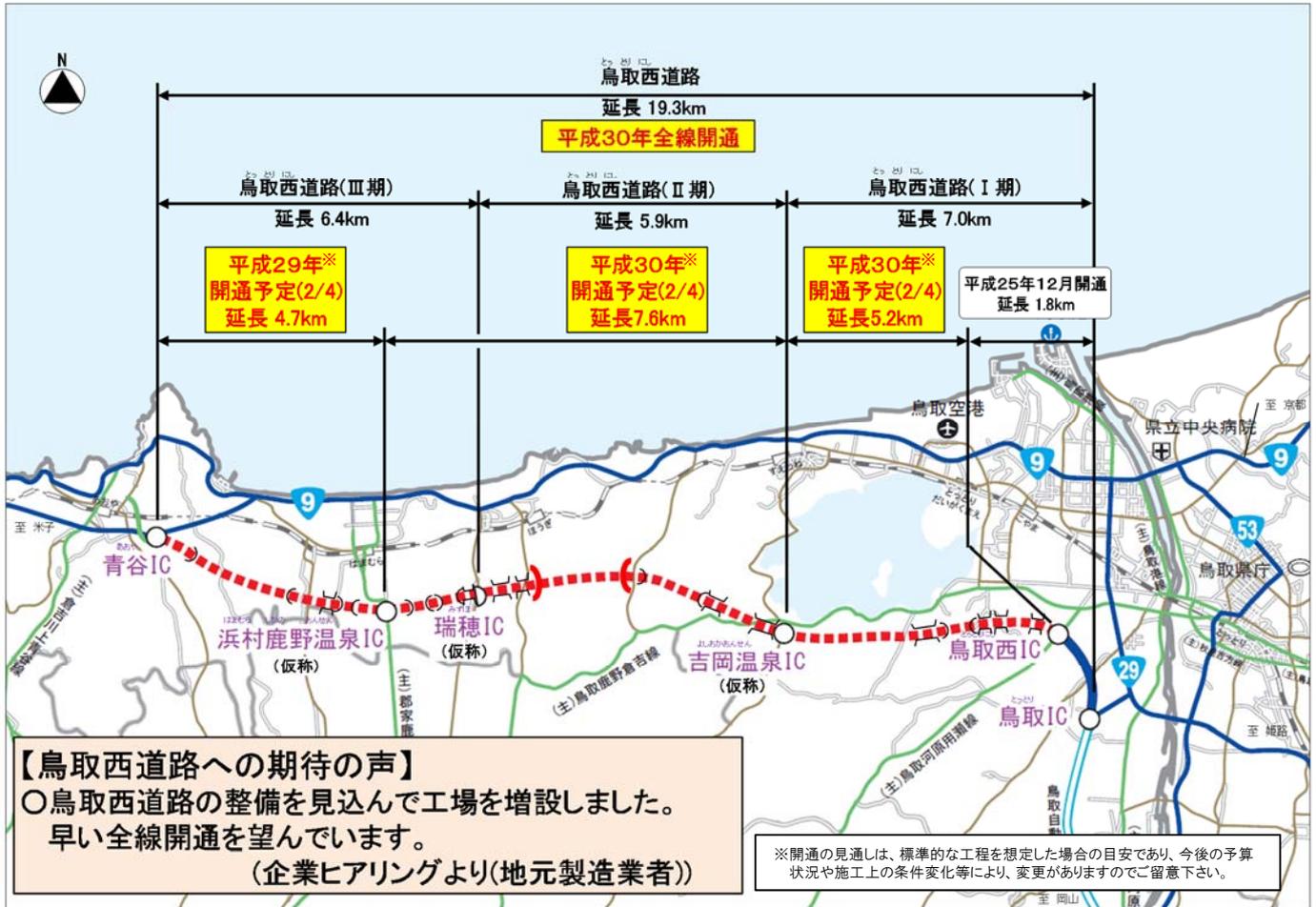
TEL:086-214-2220(代表)

HP :<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakoku/>

副所長(改築) いいぶん 飯分 優
たかはし 高橋 渉
(発注担当) 工務課長 たにぐち 谷口 雄一郎
(広報担当) 計画課長

※ 道路の異常を発見したら…道路緊急ダイヤル 緊急通報#9910へ

一般国道9号 鳥取西道路



【鳥取西道路への期待の声】
 ○鳥取西道路の整備を見込んで工場を増設しました。
 早い全線開通を望んでいます。
 (企業ヒアリングより(地元製造業者))

鳥取西道路の整備効果

- 山陰道等の整備により、芝生の切り取りから短時間で運送・敷設が可能となり、品質の高い芝生地の提供が可能に近年では関東地区への出荷割合も増加
- 今後も、鳥取西道路の整備により輸送の効率化が図られことで需要拡大に期待



地域を支えるオンリーワン企業 (株)チュウブ

委託生産者108名で年間100haの日本芝を販売。
 北栄町の砂丘地荒廃農地を利用し、スポーツ用に適した西洋芝を直営で30ha生産し、年間20haを販売。
 (国内企業No.2の生産面積、国内では4%のシェア)

鳥取自動車道(大原IC～西粟倉IC)の開通予定

【付加車線整備の概要】

暫定2車線区間では、低速車両に伴う速度低下が発生しています。走行性の向上や、事故・災害時の対応として、西粟倉IC付近、智頭IC付近、鳥取IC付近の3箇所の整備を進めています。



【付加車線整備への期待の声】

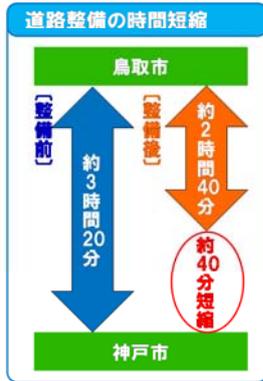
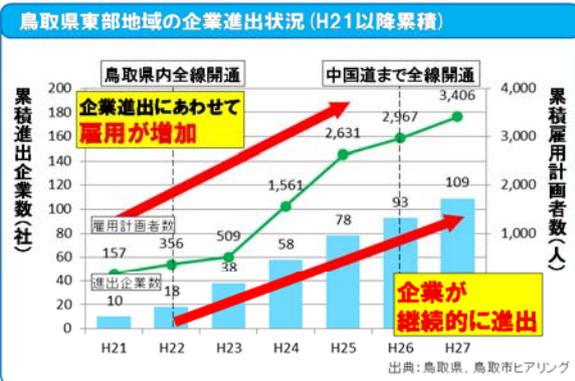
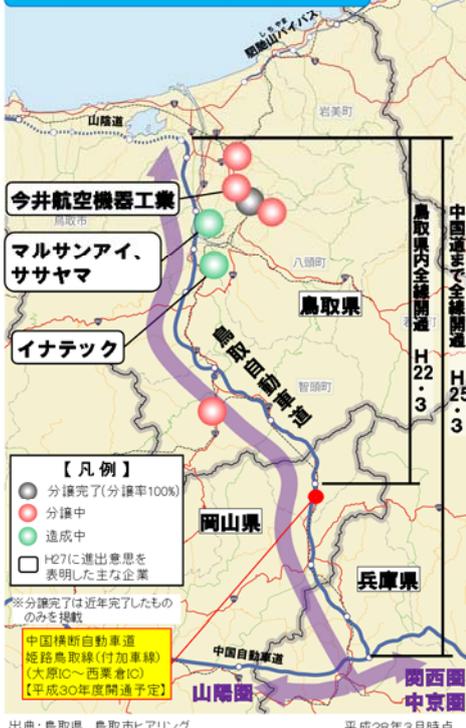
○現在整備中の鳥取自動車道 付加車線について、早期供用をお願いします。
(H27.8 鳥取県知事要望)

※開通の見通しは、標準的な工程を想定した場合の目安であり、今後の予算状況や施工上の条件変化等により、変更がありますのでご留意下さい。

鳥取自動車道 付加車線整備に対する期待

- 鳥取自動車道の整備により移動時間が短縮し、鳥取県から関西圏・山陽圏方面の交通アクセスが向上
- 震災への備え、人材確保の目的もあり、鳥取県内での企業進出にあわせて、雇用が増加
- 全線開通後も継続して企業進出が増加しており、付加車線の整備により交通利便性が更に向上することで、地域振興がより発展することに期待

工業団地の分譲状況、企業進出状況



新たに進出する企業 (H27に進出意思を表明した主な企業)

企業名	主な製品	計画雇用規模
イナテック	トヨタ系自動車部品製造	100人 (H32目途)
今井航空機器	航空機器関連部品製造	100人 (H32目途)
マルサンアイ	豆乳、味噌製造	100人 (H34目途)
ササヤマ	精密金型製造	50人 (H30目途)

「鳥取道の全線開通で愛知県との移動時間が4時間半に短縮したことも決め手」
(H27.4.28新聞記事より)

「高速道路ICが近傍にあることが工場立地の要因のひとつ」
(企業ヒアリングより)

今後の企業進出も見越して、鳥取市が新たな企業団地を造成中
付加車線の整備により、更なる企業進出に期待
(鳥取市長より)

鳥取西道路における懸案



難航事例① 鳥取西道路(Ⅰ期) 松原地区の法面変状について

- 水分を含むと粘土化する地層であり、地山が一部崩壊
- 追加の法面対策が必要

地山の崩壊状況



○特殊な地層



水に入れて30時間後

- 切削時点では硬質土だが、水分を含むことにより粘質土に変化

難航事例② 鳥取西道路(Ⅱ期) 気高第1トンネルの湧水について

- 想定外の軟弱層出現と大量湧水が発生(トンネル掘削難航)

軟弱層からの湧水状況



水抜き孔による対策状況

